

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公表番号】特表2009-529502(P2009-529502A)

【公表日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2008-557568(P2008-557568)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

C 0 7 C 35/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/047

C 0 7 C 35/14

A 6 1 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月2日(2010.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タンパク質の折り畳みおよび／もしくは凝集、ならびに／あるいはアミロイド形成、沈着、蓄積、または固執の障害の兆候の予防、処置、あるいは制御における使用のための、経口投与に適した、被験体への500mgのs c y l l o - イノシトールの用量を投与するための、投薬形態。

【請求項2】

少なくとも約0.05μMの前記被験体での前記s c y l l o - イノシトールの血漿または脳脊髄液(CSF)濃度を提供する、請求項1に記載の投薬形態。

【請求項3】

薬学的に許容される担体、希釈剤、または賦形剤も含む、前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態。

【請求項4】

それぞれ4.3±2.0%または13.0±2.0%のμ·h/mLの平均AUC<sub>0-∞</sub>を有し、かつそれぞれ、5.8±2.0%または17±2.0%のμmLの平均C<sub>max</sub>を有する平均血漿濃度プロフィールが達成される、前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態。

【請求項5】

1日に1回の被験体への経口投与のための前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態。

【請求項6】

錠剤の形態の請求項5に記載の投薬形態。

【請求項7】

カプセルの形態の請求項5に記載の投薬形態。

【請求項8】

アルツハイマー病の処置方法における使用のための前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態。

【請求項9】

軽度認識障害の処置方法における使用のための前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態。

**【請求項10】**

即時放出投薬形態である前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態。

**【請求項11】**

前記請求項のいずれか1項に記載の投薬形態の調製方法であって、ある量のs c y l l o - イノシトールと、薬学的に許容される担体、賦形剤または希釈剤とを混合する工程を包含する、方法。

**【請求項12】**

1日1回または2回、500mgまたは1000mgの用量で被験体へ経口投与することによってタンパク質の折り畳みおよび/もしくは凝集、ならびに/あるいはアミロイド形成、沈着、蓄積、または固執の障害を予防および/または処置するための医薬の調製のための、s c y l l o - イノシトールの使用。

**【請求項13】**

前記医薬が錠剤またはカプセルである、請求項12に記載の使用。

**【請求項14】**

前記医薬がアルツハイマー病の処置用のものである、請求項12に記載の使用。

**【請求項15】**

前記医薬が軽度認識障害の処置用のものである、請求項12に記載の使用。